

被災した子どもにも接する周囲の方へ

災害を経験した子どもたちのところとからだには、いろいろな変化が起こることがあります。



〈子どもに現れやすいストレス反応〉

- 赤ちゃんがえりをする
- 甘えが強くなる
- わがままを言う、ぐずぐず言う
- 反抗的になったり、乱暴になる
- 災害体験を遊びとして繰り返す

〈対応方法〉

- ★ 一緒にいる時間を増やしましょう。
- ★ 子どもが話すことは、否定せずに聴いてあげましょう。
- ★ ただし、話したくないときには無理に聞きださないようにしましょう。
- ★ 抱きしめてあげる、背中をさするなど、スキンシップの機会を増やしましょう。
- ★ 災害体験を遊びとして繰り返すことは、本人が落ち着いていくプロセスです。無理にとめないようにしましょう。

※このようなからだやところの変化は、正常な反応です。
周囲の大人が落ち着いて受け止めることで、ほとんどの場合は時間とともに回復していきます。



©2010 熊本県くまモン